

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すこやかキッズスタジオ垂水			
○保護者評価実施期間	8年 2月 1日		～	8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28人	(回答者数)	27人
○従業者評価実施期間	8年 2月 15日		～	8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	充実した職員配置	基本的に子ども対職員を2対1の割合で配置し、傍にいて安心してきめ細やかな対応ができる職員配置をしている。	様々な研修を通して職員一人一人が高い意識を持ち、子ども保護者共に安心感と信頼を持って通える事業所作りに努める。
2	職員間の密な連携による支援	計画書に沿った支援をベースにしながらも、日々変わる子ども一人ひとりの状況の確認をその都度行い、その状況に見合った支援方法を共有している。また、サービス終了後にはできる範囲でその日の支援内容の振り返りを行い、改善点等を話合っている。	全職員がその情報を共有できるように、連絡、報告を細やかに行うと共に、職員間の連絡ノートを有効に活用し、見返しや確認ができるよう工夫していく。
3	様々な視点で作成された個別支援計画書	定期的に様々な立場の職員とご家族の双方からモニタリングを行い、多角的な計画書を作成できる体制を作っている。	必要に応じて他事業所間とも連携を図り、さらに広い視野で計画書の作成を行っていく。また、全ての職員に計画書の周知を図り、同じ方向性をもって支援に取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各マニュアルの情報更新と周知	マニュアルの作成はしているが、情報が古く更新できていなかったり、職員への周知が徹底できていないことがある。	更新時期を決める等定期的な見直しができる体制を構築していく。また、マニュアルを使った研修も取り入れていく。
2	定期的な情報の発信	個人情報保護の観点や活動内容については日々の連絡帳で行えていることで必要以上の発信はしていない。	今後も個人情報の取り扱いには十分に注意しながら、要望に応じて検討していく。
3	活動プログラムの内容充実	活動プログラム自体は固定化しないよう職員で意見を出し合い、組み立てを工夫しているが、使用する道具等が古くなっているものやバリエーションが少ないことがある。	必要に応じて、修繕したり新しく購入することで、更なる活動プログラムの内容の充実を図る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		すこやかキッズスタジオ垂水					公表日	令和 8 年 3 月 26日	
							利用児童数	2 8 人	回収数 27人
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	0	0	4		・限られたスペースを上手く活用出来るように引き続き環境配慮、改善に努める。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	0	0	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1	1	5	見学をしたことがない為、わからない、という意見がありました。	・階段、トイレのバリアフリー化は十分でないので、出来る限りの安全を考慮しながらも環境配慮、改善をはかる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	0	0	3			
適 切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1	1	2			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	0	0	6		・計画の変更があった時は、迅速に情報共有をおこない、実行するようにしていく。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	0	0	0			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	0	0	4		・各項目を分け具体的に優先順位をつけて支援内容の適切な設定、記載をおこなっていくように引き続き努めていきたい。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	0	0	1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	0	1	3			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	9	13	特に必要と感じていません、という意見がありました。	・ご家族のご意向を聞きながら希望が多ければ検討していく。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	0	1	0			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	1	2	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	5	12	家族支援プログラムの機会は今までなかったと思います、という意見がありました。	・ご希望があるご家族には懇談の時などにペアレントクエアーをおこなっているが、研修会などは現時点ではおこなっていないので、今後検討していく。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	2	0	1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	4	4	2	面談は希望すればしてもらっています、という意見がありました。	定期的にはおこなっていないが、保護者から相談を受ければ面談、見学等はおこなっている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	1	0	1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	11	12	保護者同士の交流は特に必要性を感じていません、という意見がありました。	・保護者の意見が様々で希望されない方も多いので現時点では参観は実施できていないので、今後希望が多ければ検討をおこなっていく。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	1	9			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	5	2	11		・個人情報の扱いが難しくSNS等では発信ができていない。今後はできる所から改善をおこなってきたい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	3	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	1	9		・災害訓練など実施している訓練もあるが防犯、感染など細かく分類しての訓練はできていない。また今後は、保護者にも周知、説明をしっかりとお願いしたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2	1	13	避難訓練をしましたという報告を聞きまして、避難訓練の話があったと子どもから聞いた、という意見がありました。	・室内での定期的な訓練は実施できている。安全を確保出来る環境を整え、今後も出来る限り実践に近い形の避難訓練をおこなっていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	2	0	6		引き続き保護者への周知、説明をしっかりとおこなっていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	0	7		引き続き保護者への周知、説明をしっかりとおこなっていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	2	0	0	楽しかったと子どもが言っています、という意見がありました。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	4	0	1	利用日ではない曜日に行きたい、と言うことがあった、という意見がありました	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	2	0	0	急な時間変更のお迎えにも対応していただきました、という意見がありました。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
すこやかキッズスタジオ垂水		8年 3月 26日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1		・年齢が上がるにつれて体も大きくなり狭さを感じる時もあるなどの意見あったので部屋に必要最低限の療育に必要な物を置くように努め限られたスペースを上手く活用出来るように環境配慮、改善に努める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		・安全の為、子どもの数に対して半数ほどの職員を随時配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4		・階段があるなどバリアフリーは十分でないので出来る限りの安全面を考慮しながらも環境配慮、改善をはかる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・定期的に子どもが触れる場所や玩具の消毒などを行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・必要に応じて相談、クールダウン出来る部屋を用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・PDCAサイクルを心掛け、毎日、支援前と支援後に職員同士で報告を行い子どもの目標確認、状態の周知、改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・利用者の保護者向けの評価表による評価と公表を実施し、改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・定期的に会議を行い、職員の発言、意見を聞く場を設けている。また、必要に応じて業務の改善を都度行うようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		・現在は利用者と社内の評価のみとなっておりますが、今後の検討課題といたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			・施設内では研修があるが外部の研修は全員が参加できていないのでなるべく多くの職員が外部研修に参加出来るよう時間を調整し配慮していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・現在、公表行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・ご家族のニーズや課題を発言管を中心に職員間で話し合い、計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・児童発達支援計画を作成する際には、各職員の意見も聞き、集約して作成を行っている。子どもに応じた療育を考え実現可能な計画作成を行い、子どもの成長に繋がるようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・職員間で計画の情報共有を行い、支援計画を都度、確認するようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・アセスメントシートを活用したり、日々の行動観察をインフォーマルなアセスメントを活用して都度確認をおこなっています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」と各項目を分け具体的に優先順位をつけ支援内容の設定、記載をおこなっている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・全利用児の気になった課題をいつでもかけるホワイトボードを用意し意見を基に一人一人の児童に寄り添ったプログラムの作成出来るよう心掛けている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・日々成長していく過程を観察し、児童のスキルに合わせたプログラムを立案しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・個別課題のみではなく、小集団活動を取り入れるなど、子どもの状況に合わせて組み合わせた計画を立てています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・子どもが来る前にミーティングなどでその日の注意点や予定を全員で周知出来る時間を設けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・送迎終わりにも職員同士で注意点の周知、保護者からの伝達等の共有を報告もかねて行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			・記録にあたり、現場職員からの聞き取り、その後の共有など、時間のない中でもコミュニケーションを図ることを端折らず心掛けていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・必要に応じて、また遅くとも6ヶ月に一度はモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			・地域での社会活動、地域への関わりがコロナ禍から減っているが出来る範囲での社会活動を増やしていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・言語でのコミュニケーションがとりにくい場合には、絵や写真などで自己選択できるように工夫しています。また、自己選択の機会を増やし、自己決定ができる力を育てる支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・担当者会議が行われる場合は、全体を把握している責任者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	・関係機関と連携していつでも連絡ができる体制を整え、支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・学校の先生と連携し、利用児童の体調の確認授業変則時の時間の確認などを行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		・保護者からの要望がある場合や、学校側からの依頼があった場合に情報共有、相互理解を行っている。（保護者の承諾を得られた場合のみに限る）	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			・事業所から希望されれば情報提供を行っているが積極的にには行えていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		・巡回指導などはい行いアドバイスを受けているが実際、助言アドバイス等を受ける機会は少ない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7		・ご家族のご意向を聞きながら希望が多ければ検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		・一つの施設から一人づつは参加出来ていないが会社全体から代表で参加出来る時はしている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・利用時の送迎の時に課題や出来てきた事に対して保護者に報告を行い共通理解を持つように心掛けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		・ご希望があるご家族さんには懇談の時などにペアレントケアを行っているが、研修のご案内までは出来ていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約締結時に運営規程、重要事項説明書、負担額などについて説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・定期的にご家族に書いて頂くモニタリングなどを利用しご家族の意向などを確認し周知している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・個別支援計画を保護者に説明と共に提示し同意サインを必ず頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・年に1回はお話する機会を設け懇談を実施しており保護者が悩まれた時など、電話相談も対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7		・保護者の意見が様々で現在は参観は実施できていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・出来るだけ迅速に丁寧に対応するよう心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		7	・保護者には活動時の写真などを提供し喜んで頂いている。	・個人情報の扱いが難しくSNS等では発信ができていないので慎重に出来る所は改善していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報については、個人情報の取り扱い同意書に記載させていただいている内容に準じて、適切に取り扱いらせていただいております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・ホワイトボードや絵カードを用意している。今後に必要な物はその時々判断し、使用していく。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		・保護者の意見、了解も得ながら必要であれば検討し計画していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		・災害訓練など実施出来ている訓練もあるが防犯、感染など細かく分類して訓練ができていないので子供の安全を優先したうえで出来る範囲の訓練を実施していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・BCP計画を作成、避難訓練については年2回、（火災・地震）定期的に実施しています。	・室内での定期的な訓練は実施できているので安全を確保出来る環境を整え、今後は出来る限り実践に近い形の避難を心掛ける。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・アセスメント時に必ず聞き取りをし、てんかん発作等については、状況を確認し職員間で周知している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・医師からの指示を保護者にしっかりと確認し環境配慮や保護者におやつを用意して頂くなどの対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			・訓練などは行えているが安全計画自体は作成されていないので早急に作成、実行していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・家族の勤務先や緊急連絡先を複数把握しており、いつでも連絡が取れる体制を整えており、ご家族にも周知をおこなっている。また安全への取り組みに関しても周知を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハットがあれば必ず記録を行い、いつでも職員が目を通せるようにして周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待防止委員会を年に1回の社内研修と毎月セルフチェックを行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・職員全員で把握し計画に記載し計画を渡す際に説明を行っている。	